




Dell™ S300 プロジェクタ  
ユーザーズガイド

## メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」は、ハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。
-  **警告**：「警告」は、物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2010 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL ロゴは Dell Inc. の商標です。DLP および DLP ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル S300

2010 年 3 月 Rev. A01

# 目次

1	プロジェクタについて	6
	プロジェクタについて	7
2	プロジェクタの接続	9
	コンピュータへの接続	10
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの 接続	10
	VGA ケーブルを使用してループする— 接続をモニタしてください	11
	RS232 ケーブルを使ったコンピュータの 接続	12
	<b>DVD</b> プレーヤーの接続	13
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤー の接続	13
	コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	14
	コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	15
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤー の接続	16
	<b>LAN</b> ( 構内通信網 ) への接続	17
	RJ45 ケーブルを通してネットワークに 接続されたプロジェクタを制御する。	17
	プロフェッショナル向け取り付けオプション： ドライビング自動スクリーンの取り付け	18
	商用 RS232 コントロールボックスの接続	19

3	プロジェクタの使用方法	20
	プロジェクタの電源を入れる	20
	プロジェクタの電源を切る	20
	投影画像の調整	21
	プロジェクタの高さを上げる	21
	プロジェクタの高さを下げる	21
	プロジェクタのズームとフォーカスの調整	22
	投影画像サイズの調整	23
	コントロールパネルの使用方法	25
	リモコンの使用方法	27
	リモートコントロールバッテリーの取り付け	30
	リモコンの動作範囲	31
	オンスクリーンディスプレイの使用方法	32
	メインメニュー	32
	自動調整	32
	入力選択	33
	ピクチャ (PC モード)	34
	ピクチャ (ビデオモード)	35
	表示 (PC モード)	36
	表示 (ビデオモード)	38
	ランプ	39
	設定	39
	情報	43
	その他	43
	Web 管理からプロジェクタの管理	50

	ネットワーク設定の設定 . . . . .	50
	Web 管理にアクセスする . . . . .	50
	プロジェクトの管理 . . . . .	51
4	プロジェクトのトラブルシューティング	63
	ガイド信号 . . . . .	67
	ランプの交換 . . . . .	68
5	仕様 . . . . .	70
6	Dell へのお問い合わせ . . . . .	75
7	付録：用語集 . . . . .	76

## プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

---

### 同梱されているもの

---

電源ケーブル



1.8m VGA ケーブル (VGA - VGA)



リモコン



CD ユーザーガイドおよび  
取扱説明書



単 4 電池 (2)

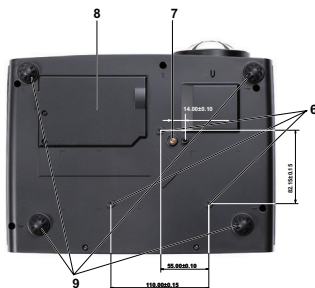


## プロジェクタについて

### 上方図



### 底面図



1	コントロールパネル
2	フォーカスタブ
3	レンズ
4	IR レシーバ
5	レンズキャップ
6	取付ホール（壁掛け用）ねじ穴 M3 x 6.5mm 深度。推奨トルク <8 kgf-cm
7	取付ホール（三脚用）：インサートナット 1/4"×20 UNC
8	ランプカバー
9	傾斜調整ホイール

### **!** 警告：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発生するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。

8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。



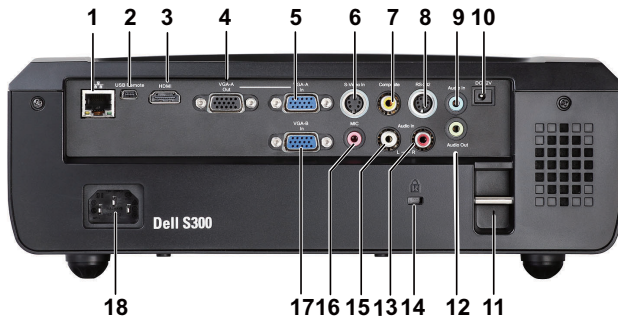
**メモ:**

- お客様自身でこのプロジェクタの壁への取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ壁掛けキット (P/N: 4TVT8/V3RTH)。詳細については、Dell サポート Web サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する **安全情報** を参照してください。



# 2

## プロジェクタの接続

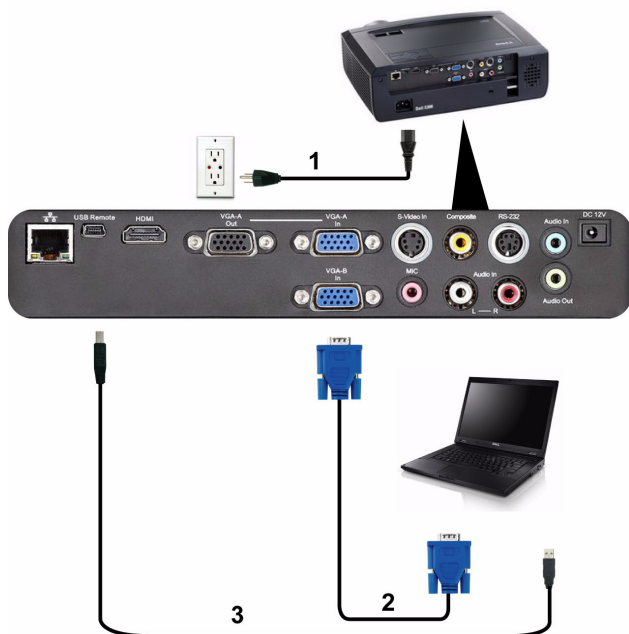


1	RJ45 コネクタ	10	+12V DC アウトコネクタ
2	リモートマウス用のミニ USB コネクタおよびファームウェア アップグレード	11	セキュリティバー
3	HDMI コネクタ	12	オーディオ出力コネクタ
4	VGA-A 出力 (モニターループスルー)	13	オーディオ -B 右チャンネル入力 コネクタ
5	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ	14	セキュリティケーブルスロット
6	S ビデオコネクタ	15	オーディオ -B 左チャンネル入力 コネクタ
7	コンポジットビデオコネクタ	16	マイクコネクタ
8	RS232 コネクタ	17	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ
9	オーディオ -A 入力コネクタ	18	電源コードコネクタ

**警告**：この章で説明する交換処理の前に、ページ 7にある「安全上のご注意」をお読みください。

# コンピュータへの接続

## VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - ミニ USB-B ケーブル

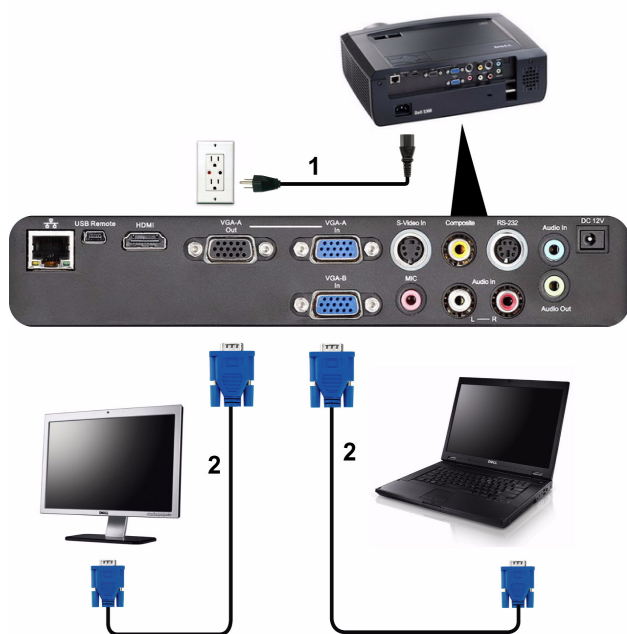


**メモ:** ミニ USB ケーブルは付属していません。



**メモ:** リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル

**メモ**：プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) でご購入いただけます。

## RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル



**メモ** : RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

# DVD プレーヤーの接続

## S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

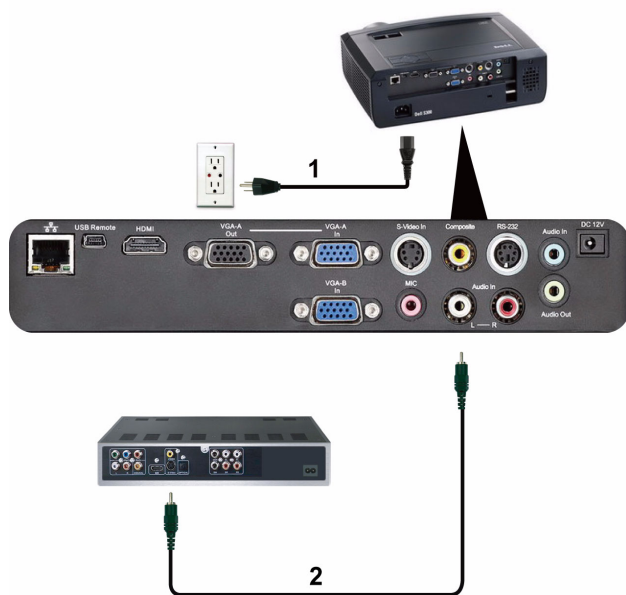


1	電源コード
2	S ビデオケーブル



**メモ** : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) で S ビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

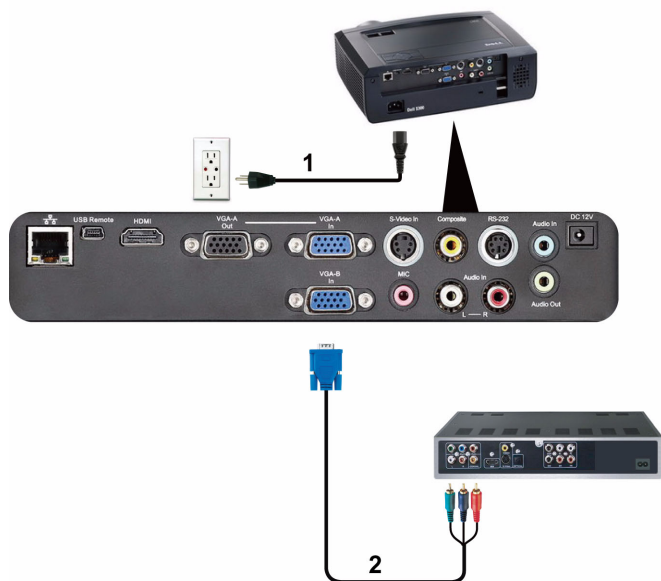


1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル



**メモ**：コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) でコンポジットビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル




**メモ** : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) で VGA - コンポーネントビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

## HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



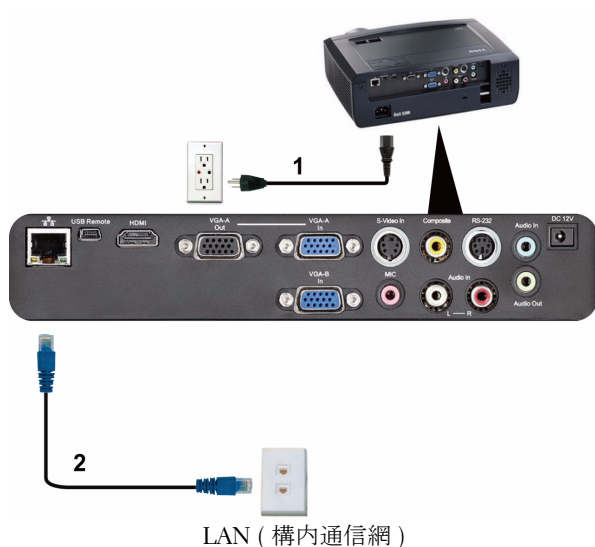
1	電源コード
2	HDMI ケーブル

 **メモ**：HDMI ケーブルは付属していません。



## LAN ( 構内通信網 ) への接続

RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続された 프로젝タを制御する。



1	電源コード
2	RJ45 ケーブル



**メモ** : RJ45 ケーブルは付属していません。

## プロフェッショナル向け取り付けオプション：ドライビング自動スクリーンの取り付け



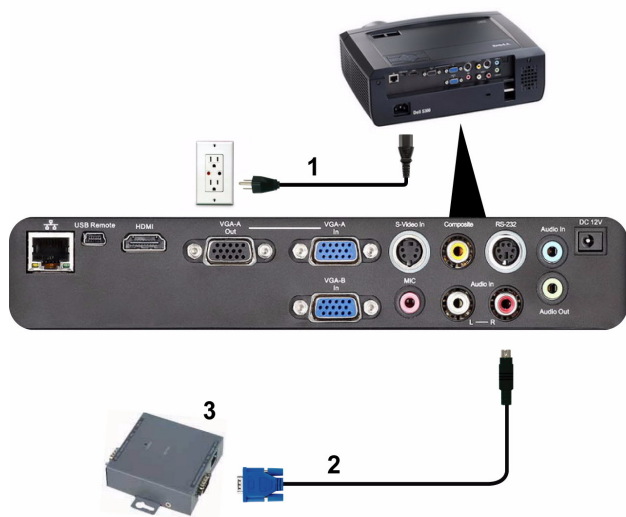
1	電源コード
2	12V DC プラグ
3	自動スクリーン

**メモ**：1.7 mm (ID) x 4.00 mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12V DC プラグを使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。


12V DC プラグ



## 商用 RS232 コントロールボックスの接続




1	電源コード
2	RS232 ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス

 **メモ** : RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。


# プロジェクタの使用方法

## プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクタの接続については、ページ 9 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、ページ 25 の「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 5 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、ページ 9 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 6 デフォルトで、入力ソースはVGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 7 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、ページ 25 の「コントロールパネルの使用方法」とページ 27 の「リモコンの使用方法」を参照してください。

## プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします」というメッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。

3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを1秒間押し続けます。

**メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

## 投影画像の調整

### プロジェクタの高さを上げる

1 プロジェクタを必要なディスプレイ角度まで上げ、2つの前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

2 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

### プロジェクタの高さを下げる

1 プロジェクタを下げ、2つの前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。



1	前面傾斜調整ホイール（傾斜角度：-1～4度）
2	傾斜調整ホイール

## プロジェクタのズームとフォーカスの調整

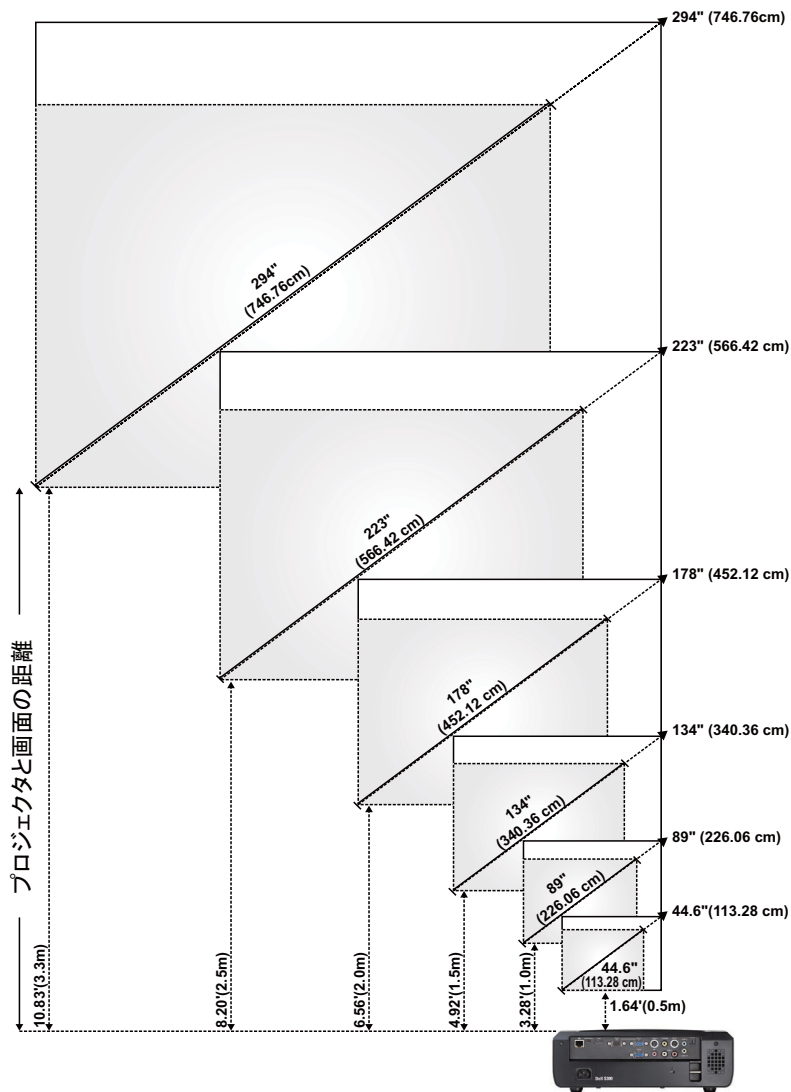
**⚠ 警告:** プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

1 画像が鮮明になるまでフォーカスタブを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 49.99 cm ~ 330.10 cm (0.5 m ~ 3.3 m) です。



1	フォーカスタブ
---	---------

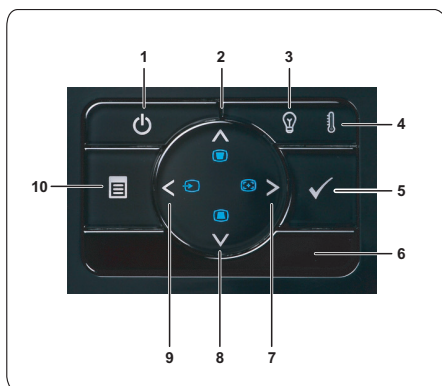
# 投影画像サイズの調整



画面 (対角線)	最大	44.6" (113.28 cm)	89" (226.06 cm)	134" (340.36 cm)	178" (452.12 cm)	223" (566.42 cm)	294" (746.76cm)
	最小	44.6" (113.28 cm)	89" (226.06 cm)	134" (340.36 cm)	178" (452.12 cm)	223" (566.42 cm)	294" (746.76cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高さ)	37.80" X 23.62"	75.59" X 47.24"	113.39" X 70.87"	151.18" X 94.49"	188.98" X 118.11"	249.21" X 155.91"
		(96 cm X 60 cm)	(192 cm X 120 cm)	(288 cm X 180 cm)	(384 cm X 240 cm)	(480 cm X 300 cm)	(633 cm X 396 cm)
	最小 (幅 x 高さ)	37.80" X 23.62"	75.59" X 47.24"	113.39" X 70.87"	151.18" X 94.49"	188.98" X 118.11"	249.21" X 155.91"
		(96 cm X 60 cm)	(192 cm X 120 cm)	(288 cm X 180 cm)	(384 cm X 240 cm)	(480 cm X 300 cm)	(633 cm X 396 cm)
Hd	最大	2.93" (7.44 cm)	5.86" (14.87 cm)	8.79" (22.32 cm)	11.71" (29.74 cm)	14.64" (37.19 cm)	19.33" (49.09 cm)
	最小	2.93" (7.44 cm)	5.86" (14.87 cm)	8.79" (22.32 cm)	11.71" (29.74 cm)	14.64" (37.19 cm)	19.33" (49.09 cm)
投影距離		1.64' (0.5m)	3.28' (1.0m)	4.92' (1.5m)	6.56' (2.0m)	8.20' (2.5m)	10.83' (3.3m)
* この表はユーザーの参照用です。							



## コントロールパネルの使用方法



### 1 電源

プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ 20 の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ 20 の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。

### 2 上 / キーストーン調整

このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。







ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。

### 3 ランプ警告ライト

LAMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。





- ランプがその耐用年数の終わりに達した
- ランプモジュールを適切に取り付けていない
- ランプドライバが故障している
- カラーホイールが故障している






詳しくは、ページ 63 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 67 の「ガイド信号」を参照してください。







4	温度警告ライト	<p>TEMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクタの内部温度が高すぎる</li> <li>• カラーホイールが故障している</li> </ul> <p>詳しくは、ページ 63 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 67 の「ガイド信号」を参照してください。</p>
5	エンター 	このボタンを押して選択項目を確定します。
6	IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。
7	右  自動調整	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。</p> <p> <b>メモ:</b> オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、<b>自動調整は作動しません。</b></p>
8	ダウン  / キーストーン調整	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。</p>
9	左  / ソース	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。</p>
10	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーとメニューボタンで OSD をナビゲートします。

# リモコンの使用方法




1	電源 	プロジェクトの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ 20 の「プロジェクトの電源を入れる」およびページ 20 の「プロジェクトの電源を切る」を参照してください。
2	エンター 	このボタンを押して選択を確定します。
3	右 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
4	ダウン 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押して続けてレーザーライトを起動します。 <b>⚠ 警告：レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けしないでください。</b>
6	縦横比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
7	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。 <b>📌 メモ：</b> ページ上機能を使用する場合、ミニUSBケーブルを接続する必要があります。
9	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。 <b>📌 メモ：</b> ページ下機能を使用する場合、ミニUSBケーブルを接続する必要があります。
10	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
11	S ビデオ	このボタンを押して S ビデオソースを選択します。
12	ビデオ	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。
13	ビデオモード	プロジェクタには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。 <b>ビデオモード</b> ボタンを押して <b>プレゼンテーションモード</b> 、 <b>ブライモード</b> 、 <b>映画モード</b> 、 <b>sRGB</b> 、または <b>カスタムモード</b> を切り替えます。 <b>ビデオモード</b> ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 <b>ビデオモード</b> ボタンを押すと、モードが切り替わります。
14	ブランク画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。

15	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
18	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
19	ズーム +	このボタンを押して画像を上げます。
20	ズーム -	このボタンを押して画像を下げます。
21	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
22	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
23	フリーズ	このボタンを押して画面の画像を一時停止し、「凍結」をもう一度押して、画像を解凍します。
24	VGA	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
25	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
26	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。

## リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ:** 使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。

①



2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。


②



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

③



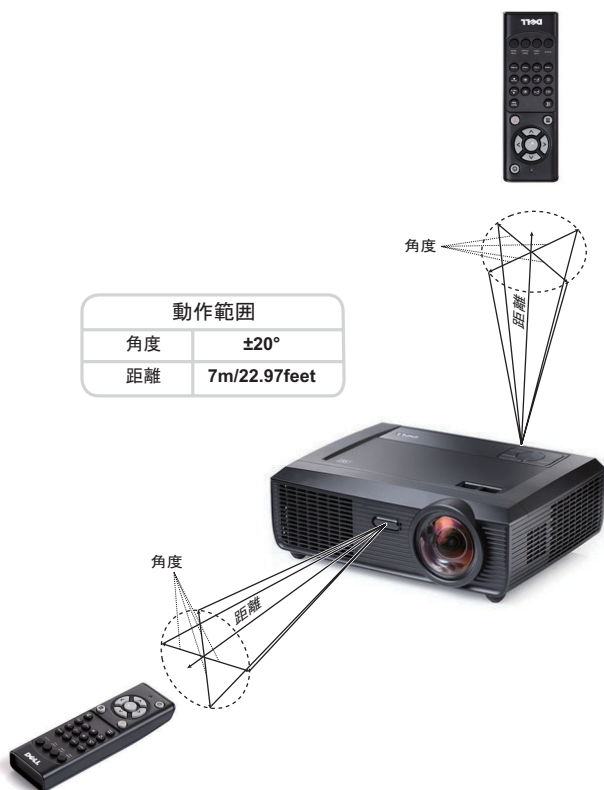
 **メモ:** 異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。


4 バッテリーカバーを元に戻します。

④












## リモコンの動作範囲



 **メモ**：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

# オンスクリーンディスプレイの使用方法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  または  ボタンを押します。色が濃い青色になります。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- コントロールパネルまたはリモコンの  または  ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、「戻る」タブに進み、コントロールパネルまたはリモートコントロールの  ボタンを押します。
- OSDを終了するには、「終了」タブに進み、 ボタンを押すか、または、コントロールパネルまたはリモートコントロールのメニューボタンを押します。

## メインメニュー



## 自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの**水平位置**、**垂直位置**、**周波数**と**トラッキング**を自動的に調整します。自動調整が進行中、次のメッセージが画面に表示されます：

お待ちください



## 入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクトの入力ソースを選択します。



**自動ソース オフ** (デフォルト) を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソースモード**をオフに設定した状態で**ソース**ボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。**オン**を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクトの電源が入った状態で**ソース**ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

**VGA-A**—を押してVGA-A信号を検出します。

**VGA-B**—を押してVGA-B信号を検出します。

**Sビデオ**—を押してSビデオ信号を検出します。

**コンポジットビデオ**—を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

**HDMI**—を押してHDMI信号を検出します。

**アドバンス**—を押して入力選択の詳細設定メニューを起動します。

## 入力選択の詳細設定

[入力選択の詳細]により、入力ソースの有効/無効を切り替えることができます。




**VGA-A**— および  を使用して、VGA-A 入力の有効/無効を切り替えます。

**VGA-B**— および  を使用して、VGA-B 入力の有効/無効を切り替えます。

**Sビデオ**— および  を使用して、Sビデオ入力の有効/無効を切り替えます。

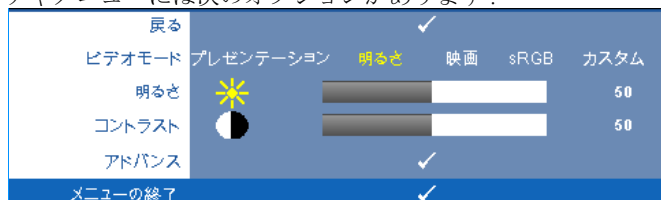
**コンポジットビデオ**— および  を使用して、コンポジットビデオ入力の有効/無効を切り替えます。

**HDMI**— および  を使用して、HDMI 入力の有効/無効を切り替えます。


 **メモ**：現在の入力ソースを無効にすることはできません。常に、2つ以上の入力ソースを有効にする必要があります。

## ピクチャ（PCモード）



ピクチャメニューを使って、プロジェクトの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：




**ビデオモード**—ディスプレイの画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、**カスタム**（お好みの設定を設定します）。**明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクトは**カスタム**に自動的に切り替わります。

 **メモ**：**明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクトは**カスタム**に自動的に切り替わります。

**明るさ**—やを使って画像の明るさを調整します。

**コントラスト**—やを使ってディスプレイのコントラストを調整します。

**アドバンス**—を押して**ピクチャ拡張**メニューを起動します。ページ 36 の「高度なピクチャ」をご覧ください。

## ピクチャ（ビデオモード）

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



**ビデオモード**—ディスプレイの画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、**カスタム**（お好みの設定を設定します）。**明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。

**メモ**：**明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。

**明るさ**—やを使って画像の明るさを調整します。

**コントラスト**—やを使ってディスプレイのコントラストを調整します。

**彩度**—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を減らし、を押して色の量を増やします。

**鮮明度**—を押して鮮明度を下げ、を押して鮮明度を上げます。

**色合い**—を押して画像の緑色の量を増やし、を押して赤色の量を増やします（NTSC用にものみ使用可能）。

**アドバンス**—を押してピクチャ**拡張**メニューを起動します。以下の「高度なピクチャ」をご覧ください。

**メモ**：**彩度**、**鮮明度**、**色合い**は、入力ソースがコンポジットやSビデオから出ている場合のみ使用可能です。

## 高度なピクチャ

[高度なピクチャ]メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。[高度なピクチャ]メニューには次のオプションがあります。



**白の強度** — と を使ってディスプレイの白の強度を調整します。

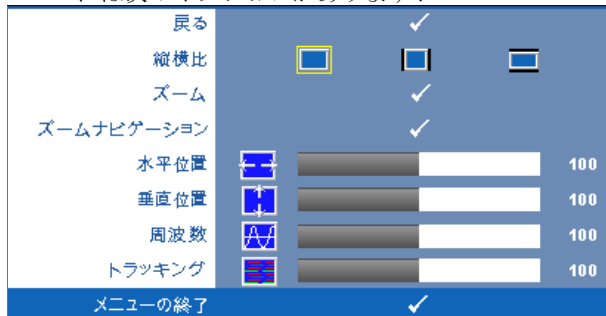
**色温度** — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。色調整メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

**カスタムカラー調節** — 赤、緑、青の色を手動で調整します。




**カラースペース** — カラースペースを選択できます。オプションには RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

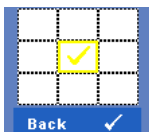
## 表示 (PC モード)


表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：




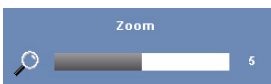
**縦横比** — アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。




-  **オリジナル** — オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
-  **4:3** — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
-  **ワイド** — 入力ソースを調製して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。




**ズーム**  を押して**ズーム**メニューを起動します。





ズームする領域を選択し、 を押してズームされた画像を表示します。







 または  を押して画像の倍率を調整し、 を押して表示します。



**ズームナビゲーション**  を押して**ズームナビゲーション**メニューを起動します。

    を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

**水平位置**  を押して画像を左へ移動し、 を押して画像を右へ移動します。

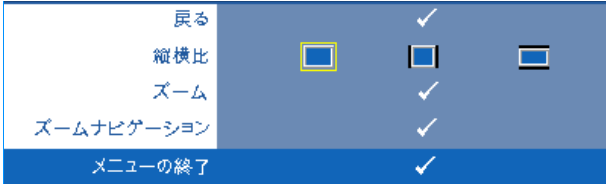
**垂直位置**  を押して画像を下へ移動し、 を押して画像を上へ移動します。

**周波数** — ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、**周波数**コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

**トラッキング** — ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、**トラッキング**を使って修正します。これは微調整です。

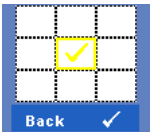
## 表示（ビデオモード）

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



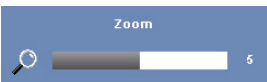
**縦横比** — アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。

- オリジナル — オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
- ワイド — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。



**ズーム** —  を押して **ズーム** メニューを起動します。

ズームする領域を選択し、 を押してズームされた画像を表示します。



または  を押して画像の倍率を調整し、 を押して表示します。

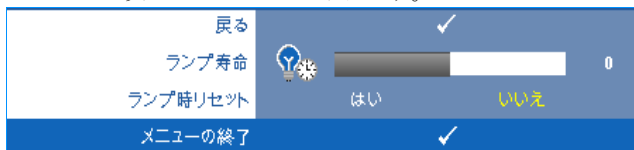


**ズームナビゲーション** —  を押して **ズームナビゲーション** メニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

## ランプ

ランプメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ランプメニューには次のオプションがあります。

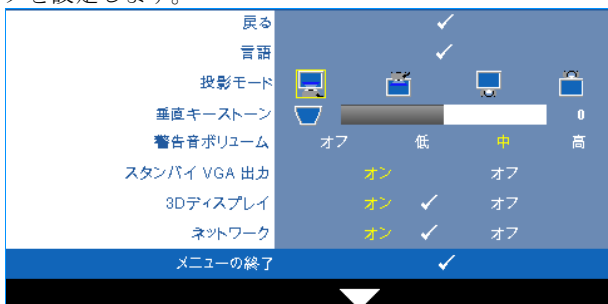


**ランプ寿命**—最後にランプタイマーをリセットしてからの経過時間を表示します。

**ランプ時リセット**—はいを選択して、ランプタイマーをリセットします。

## 設定





[セットアップ]メニューでは言語、投影モード、垂直キーストーン、警告音ボリューム、スタンバイVGA出力、3Dディスプレイおよびネットワークを設定します。



**言語**—OSD 用の言語を設定します。[F4]を押して**言語**メニューを起動します。



**投影モード**—プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

-  デスクトップ前面投影 - これは初期設定オプションです。
-  前面投影 - 壁掛け - 壁掛けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。
-  デスクトップ背面投影 - プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
-  背面投影 - 壁掛け - プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。壁掛けで透過画面の裏面から投影できます。

**垂直キーストーン**—プロジェクタを傾けた場合の画像の垂直歪みを手動で調整します。

**警告音ボリューム**—電源のオン/オフに対するブザー警報の音の大きさ（オフ、低、中、高）を設定します。

**スタンバイ VGA 出力**—オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。初期設定はオフです。



**3D ディスプレイ** オンを選択して 3D ディスプレ機能を起動します。初期設定はオフです。

 **メモ：**

- 3D 体験には、以下のコンポーネントその他が必要になります。
  - 120Hz 信号出カクアッドバッファ・グラフィックカードを搭載する PC/NB
  - DLP Link™ が「アクティブ」な 3D めがね
  - 3D コンテンツ「メモ 4」をご覧ください。
  - 3D プレーヤー (例：立体映像プレーヤー ...)
- 以下に記載の条件が満たされる場合に 3D 機能を有効化します。
  - グラフィックカード搭載の PC/NB、VGA あるいは HDMI ケーブルによる 120Hz 信号出力が可能
  - 3D コンテンツの一揃いをビデオおよび S-ビデオ経由で入力
- プロジェクタが上記のうちいずれかの入力を検出した際、「SETUP(セットアップ)」上の 3D ディスプレイを有効化し、->「3D Display (3D 表示)」OSD が作動します。
- 現在の 3D 対応タイムは以下のとおりです。
  - VGA/HDMI 1280 x 720 120 Hz
  - コンポジット / S ビデオ 60Hz
  - コンポーネント 480i
- NB 用の推奨 VGA 信号はシングルモード出力 (デュアルモードは推奨されません) です。



**3D 同期反転**—DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

**ネットワーク** オンを選択すると、ネットワーク機能が起動します。 を押してネットワーク設定を起動します。

## ネットワーキング

[ ネットワーク ] メニューでは、ネットワークの接続設定を設定します。

戻る	<input checked="" type="checkbox"/>
DHCPアドレス	オン <input type="checkbox"/> オフ <input checked="" type="checkbox"/>
IPアドレス	192 . 168 . 4 . 137
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	192 . 168 . 4 . 137
DNS	192 . 168 . 1 . 4
保存	<input checked="" type="checkbox"/>
ネットワークをリセット	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/>
メニューの終了	<input checked="" type="checkbox"/>

**DHCP アドレス**—DHCP サーバーがプロジェクトが接続されるネットワークに存在する場合、IP アドレスは DHCP **オン** を選択するとき自動的に取得されます。DHCP が **オフ** の場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。  を使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。Enter を入力して各番号を確認し、  を使用して次の項目を設定します。

**IP アドレス**—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。

**サブネットマスク**—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

**ゲートウェイ**—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

**DNS**—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

**保存**— を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

### メモ:

- と  ボタンを使って、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS および保存を選択します。
- ボタンを押して、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは、黄色で強調表示されます)
  - と  ボタンを使って、オプションを選択します。
  - と  ボタンを使って、値を設定します。
  - セットアップの完了後、 ボタンを押して、終了します。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS のセットアップ後、「保存」を選択し、 ボタンを押して、設定を保存します。

**ネットワークのリセット**—はいを選択して、ネットワーク設定をリセットします。

## 情報

[情報]メニューには、現在のプロジェクト設定が表示されます。




戻る	✓
モデル名	S300
入力ソース	アナログ RGB 1280X800 60Hz
オペレーション時	10 hr
PPID	CN-092W58-S0081-46B-0208
IPアドレス	192.168.4.137
メニューの終了	✓

## その他

[その他]メニューでは、メニュー、画面、オーディオ、電源、セキュリティ、クローズドキャプションの設定を変更します (NTSCのみ)。テストパターンと出荷時にリセットを実行することもできます。

戻る	✓
メニュー設定	✓
スクリーン設定	✓
オーディオ設定	✓
パワー設定	✓
セキュリティ設定	✓
クローズドキャプション	オン ✓ オフ
テストパターン	オフ 1 ✓ 2 ✓
出荷時にリセット	✓
メニューの終了	✓

**メニュー設定**—を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。

戻る	✓
メニュー位置	
メニューの透明度	 0
メニュータイムアウト	 20
メニューロック	オン オフ
メニューの終了	✓

**メニュー位置**—OSD メニューの画面上の位置を変更します。

**メニューの透明度**—OSD 背景の透明度レベルを変更します。

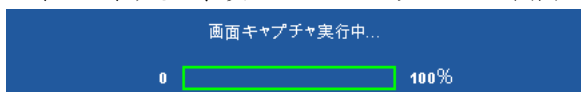
**メニュータイムアウト**—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

**メニューロック** —  を選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。**オフ** を選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

**スクリーン設定** —  を選択して押し、画面設定を起動します。画面設定メニューは、次のオプションで構成されます。



**スクリーンキャプチャー** —  を選択して押し画面ディスプレイをキャプチャすると、次のメニューメッセージが画面に表示されます。

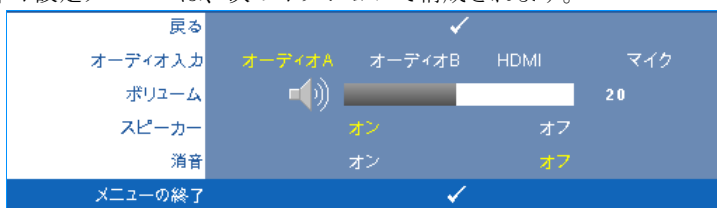


**メモ** : フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1280 x 800 解像度であることを確認します。

**スクリーン** — Dell を選択し、壁紙として Dell ロゴを使用します。**キャプチャー済** を選択し、壁紙としてキャプチャされた画像を設定します。

**リセット** —  を選択して押しキャプチャされたピクチャを削除し、デフォルト設定に戻します。

**オーディオ設定** —  を選択して押し、オーディオ設定を変更します。オーディオ設定メニューは、次のオプションで構成されます。




**オーディオ入力**—オーディオ入力ソースを選択します。オーディオ-A、オーディオ-B、HDMI、マイクのオプションがあります。

**ボリューム**—を押して音量を下げ、を押して音量を上げます。

**スピーカー**—オンを選択してスピーカーを有効にします。オフを選択するとスピーカーが無効になります。

**消音**—オーディオ入力とオーディオ出力のサウンドを消音にします。

**電源設定**—を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューは、次のオプションで構成されます。


戻る					✓
省電力	オフ	30分	60分	90分	120分
クイックシャットダウン		はい		いいえ	
メニューの終了					✓


**省電力**—オフを選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは120秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間どれかのキーボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は30分、60分、90分、120分に設定できます。

遅延時間内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタはランプをオフにして、省電力モードになります。遅延時間内で入力信号が検出されると、プロジェクタは自動的にオンになります。省電力モードの間2時間入力信号が検出されない場合は、プロジェクタは省電力モードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

**クイックシャットダウン**—はいを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約30秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

**セキュリティ設定**—を選択して押して、セキュリティ設定を起動します。セキュリティ設定メニューにより、パスワード保護を有効にしたり設定

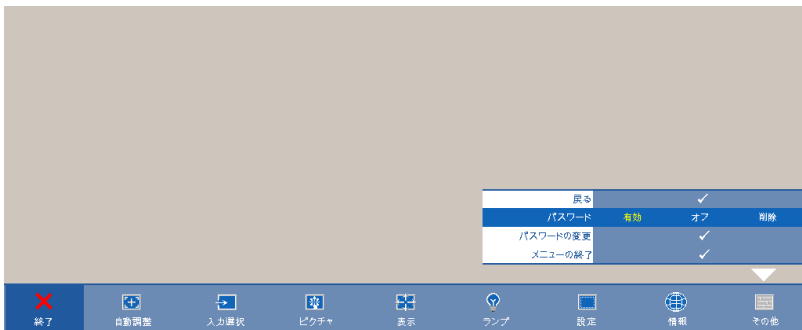
したりできます。


戻る	有効	✓	
パスワード	有効	オフ	削除
パスワードの変更		✓	
メニューの終了		✓	

**パスワード**—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

#### 1 初回パスワード入力の要請

- a **その他**メニューに進み、を押して、次に**パスワード**を選択してパスワード設定を**有効**にします。





- b パスワード機能を有効にすると、文字画面がポップアップ表示されます。4桁の番号を画面から入力してを押します。

新規パスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-092W58-S0081-46B-0208  選択 確認

- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクトの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと2回で正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクトは自動的にオフになります。
-  **メモ:** パスワードを忘れた場合は、DELL™ または正規サービス技術者までご連絡ください。
- 3 パスワード機能を無効にするには、**オフ**を選択して機能を無効にします。
- 4 パスワードを削除するには、**削除**を選択します。

**パスワードの変更** 元のパスワードを入力し、次に新規パスワードを入力します。新規パスワードをもう一度入力して確認します。

元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ^ 選択

PPID CN-092W58-S0081-46B-0208  確認

新規パスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ^ 選択

PPID CN-092W58-S0081-46B-0208  確認

新しいパスワードを再入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	


> < ✓ ^ 選択

PPID CN-092W58-S0081-46B-0208  確認





**クローズドキャプション** オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプション、CC1、CC2、CC3、CC4を選択します。

戻る				✓
選択	CC1	CC2	CC3	CC4
メニューの終了				✓

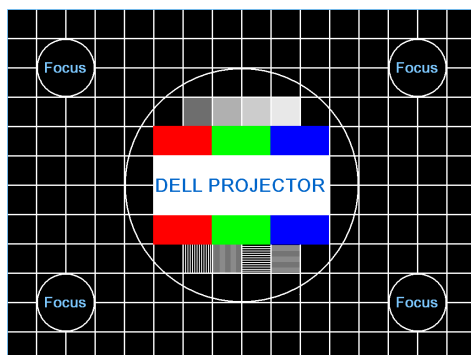


 **メモ:** クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。

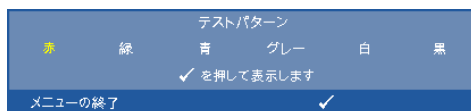
**テストパターン**—テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1 または 2 を選択することで、**テストパターン** の有効/無効を切り替えることができます。コントロールパネルの  と  ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、**テストパターン 1** を呼び起こすこともできます。コントロールパネルの  と  ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、**テストパターン 2** を呼び起こすこともできます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:



**出荷時にリセット**— を選択して押しすべての設定を出荷時デフォルトにリセットすると、以下の警告メッセージが表示されます。



コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

# Web 管理からプロジェクトの管理

## ネットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、ネットワーク設定 (TCP/IP) を設定することで、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク機能を使用するとき、IP アドレスは一意にする必要があります。ネットワーク設定を行う場合、ページ 42 の「ネットワークキング」を参照してください。

## Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 5.0 以降または Firefox 1.5 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

# プロジェクトの管理

## ホーム



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。ページ 42 の「ネットワーキング」をご覧ください。
- **言語** : Web 管理用の言語を設定します。

## ネットワーク設定

ページ 42 の OSD セクションを参照してください。

The screenshot shows the Dell S300 Web Management interface. The left sidebar contains navigation links: ホーム, ネットワーク設定, プロジェクターの状態と管理, Eメールアラート, パスワード設定, and ファームウェアの更新. The main content area is titled 'ネットワーク設定' and includes the following fields and options:

- モデル名: S300
- プロジェクト名: 019906
- 場所: [ ]
- 連絡先: [ ]
- 保存
- DHCP     手動
- IPアドレス: 192.168.6.100
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ゲートウェイ: 192.168.6.254
- DNS サーバー: 192.168.1.167
- 保存
- Crestron エンロー-ルシステムデバイス
- IPアドレス: 255.255.255.0
- デバイス ID: 7
- ポート: 41794
- 保存

- Set up the **モデル名**、**プロジェクト名**、**場所**、**連絡先**情報を設定します (各フィールドに対して最大 21 文字)。 **保存** を押して設定を保存します。
- **DHCP** を選択して DHCP サーバからプロジェクトに IP アドレスを自動的に割り当てるか、 **手動** を選択して IP アドレスを手動で割り当てます。
- Crestron 機能上の **IP アドレス**、**デバイス ID** および **ポート** 情報をセットアップします。

## プロジェクタステータスとコントロールページ



- **プロジェクタの状態**：ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップの5つのステータスがあります。リフレッシュボタンをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- **省電力**：省電力は オフ、30 分、60 分、90 分、120 分に設定できます。ページ 45 を参照してください。
- **アラート状態**：ランプ警告、少ないランプ寿命、温度警告の、3つのエラーステータスがあります。プロジェクタは、警報が有効になっている場合、保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、**消去**ボタンをクリックしてアラート状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。
- **投影モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。投影モードには、デスクトップ前面投影、前面投影、壁掛け、デスクトップ背面投影、背面投影、壁掛けの4つのモードがあります。
- **ソース選択**：ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、S-ビデオ、コンポジットビデオ、HDMI から選択できます。
- **ビデオモード**：プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します：
  - **プレゼンテーション**：プレゼンテーションスライドに最適です。

- **明るさ** : 最大の明るさとコントラスト

- **映画** : 映画と写真の表示用です。

- **sRGB** : より正確なカラープレゼンテーションを提供します。

- **カスタム** : お好みの設定です。

- **何もうつっていない画面** : オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比** : アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ** : 値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト** : 値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。
- **オーディオ入力** : 入力ソースにはオーディオ -A、オーディオ -B、HDMI、マイクを選択できます
- **ボリューム** : オーディオボリュームには、値 (0 ~ 20) を選択できます
- **スピーカー** : オンを選択してオーディオ機能を有効にしたり、オフを選択してオーディオ機能を無効にしたりできます。

## E メールアラート

デフォルトの 25 ポートを使用し、暗号化および認証 (SSL あるいは TLS) をサポートしない標準 SMTP サーバを搭載。

The screenshot shows the Dell S300 Web Management interface. The left sidebar contains navigation links: ホーム, ネットワーク設定, プロジェクトの状態と管理, Eメールアラート, パスワード設定, and ファームウェアの更新. The main content area is titled 'Eメールアラート'. It features a radio button selection for '有効' (checked) and '無効'. Below this are input fields for '宛先', 'Cc', '発信元', and '件名'. The '件名' field contains the text 'S300-D19996 アラート'. A 'SMTP設定' section includes input fields for '送信SMTPサーバ', 'ユーザー名', and 'パスワード'. A '警報条件' section has three checkboxes: 'ランンプ警告', 'ランプ寿命が短くなっています', and '温度警告'. A '保存' button is located at the bottom left of the form area.

- **E メールアラート** : E メールで通知を受け取るか (有効)、または受け取らない (無効) かを設定できます。
- **宛先 / Cc / 発信元** : 異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者 (発信元) と受信者 (宛先 / Cc) の E メールアドレスを入力できます。
- **警報条件** : E メールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、E メールが受信者 (宛先 / Cc) に送信されます。
- **送信 SMTP サーバー、ユーザー名およびパスワード** はネットワーク管理者または MIS から提供される必要があります。

## パスワード設定

The screenshot shows the Dell S300 Web Management interface. The top navigation bar includes the Dell logo and the text 'S300 Web Management' and 'www.dell.com'. A left sidebar contains a menu with items: ホーム, ネットワーク設定, プロジェクターの状態と管理, Eメールアラート, パスワード設定 (highlighted), and ファームウェアの更新. The main content area is titled 'パスワード設定' and contains the following text and form fields:

初めてこの機能を有効にする場合、パスワードを設定してください。パスワードが設定されると、Web 管理に接続するときにパスワードを入力する必要があります。

システム管理者  
パスワード  有効  無効

新規パスワード

パスワードの確認

---

SNMP に対してセキュリティを設定します

書き込みコミュニティ

パスワード設定を使って管理者パスワードをセットアップし、**Web 管理**にアクセスします。初めてパスワードを有効にするとき、その前にパスワードを設定してください。パスワード機能が有効になると、**Web 管理**にアクセスするには管理者パスワードが必要となります。

- **新規パスワード**：新しいパスワードの入力
- **パスワードの確認**：パスワードを再入力して、送信します
- **書き込みコミュニティ**：SNMP 用にセキュリティを設定します。パスワードを入力して、送信します



**メモ**：管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。



## ログインページ

www.dell.com  
バージョン 101

**DELL**™ S300 Web Management

DELL S300 Web 管理にようこそ。

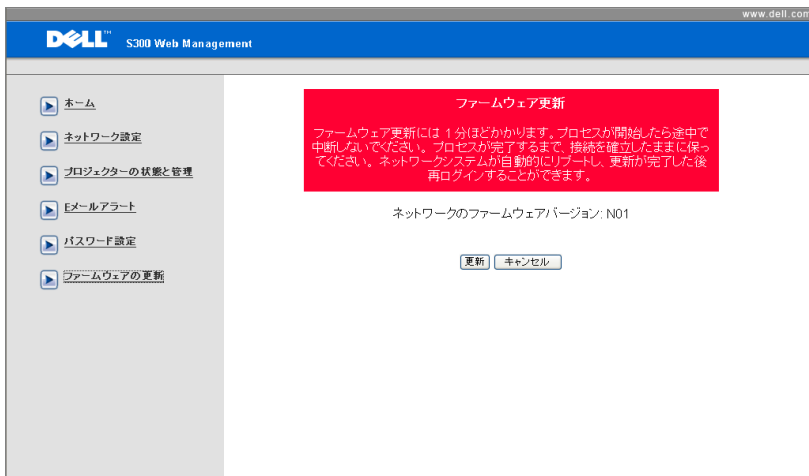
管理者パスワード:

**プロジェクト情報**

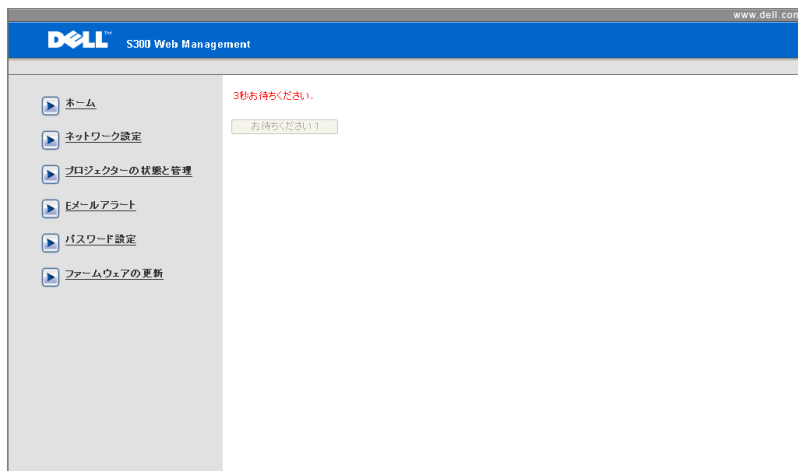
プロジェクト名:	D19986
IPアドレス:	192.168.6.150

- **管理者パスワード** : 管理者パスワードを入力して、ログインをつくりくします。

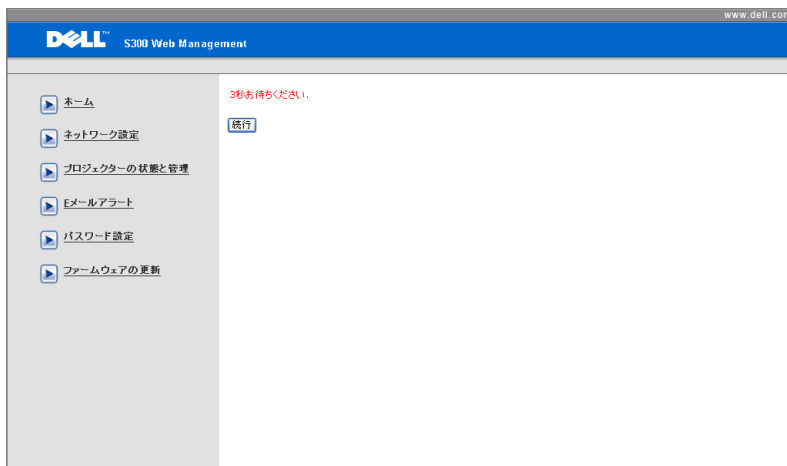
## ファームウェア更新



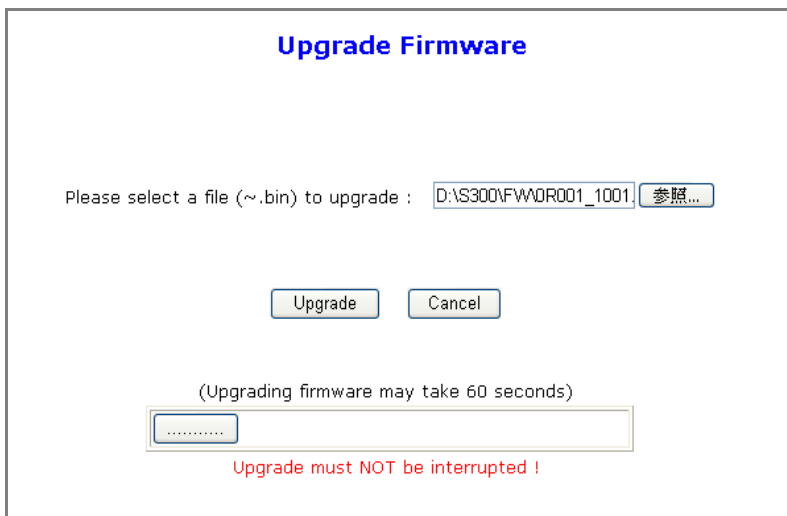
ファームウェアの更新ページを使って、プロジェクターのネットワークファームウェアを更新します。



- カウントが 0 になるまでお待ちください。



- 3秒間待つと、次のステップに自動的に進みます。



- アップグレードするファイルを選択し、アップグレードボタンをクリックします。アップグレードが進行中、キャンセルボタンは無効になります。

Please wait.  
Click on button to proceed after 8 seconds.

Waiting(6)

- カウントが0になるまでお待ちください。

Please wait.  
Click on button to proceed after 8 seconds.

Re Login

- アップグレードが完了したら、**再ログイン**ボタンをクリックしてWeb管理ホームページに戻ってください。

## ヒント:

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 **コントロールパネル** → **インターネットオプション** → **全般タブ** → **インターネット一時ファイル** → **設定** → **ページのすべての訪問者**を選択します。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP: メールサーバー間で E メールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP: 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX: AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 **コンピュータ/ノート PC** がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 **コンピュータ/ノート PC** が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

---

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして [test@dell.com](mailto:test@dell.com) を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、[test@dell.com](mailto:test@dell.com) アカウント情報を使用する必要もあります。

---

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

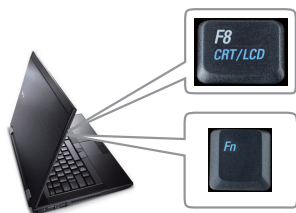
---

## プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。ページ 75 で「Dell™ へのお問い合わせ」をご覧ください。





### 問題

画面に画像が表示されない。



### 解決方法

- レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。
- [入力選択]メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 9 の「プロジェクタの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください（ページ 68 の「ランプの交換」をご覧ください）。
- プレファレンスメニューの**その他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続く)	解決方法 (続く)
入力ソースが見つかりません。特定の入力ソースに切り替えることができません。	[ 高度なソースの有効/無効 ] に進み、特定の入力ソースが [ 有効 ] に設定されていることを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	<p><b>1</b> リモコンまたはコントロールパネルの <b>自動調整</b> ボタンを押します。</p> <p><b>2</b> Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) または XGA (1024 x 768) に設定します。</p> <p><b>a</b> Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、<b>プロパティ</b> をクリックし、<b>設定</b> タブを選択します。</p> <p><b>b</b> 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 または 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。</p> <p><b>c</b>   (Fn+F8) を押します。</p> <p>解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。</p> <p>Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。コンピュータからくる出力信号が業界標準に従っていません。この場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードします。Dell コンピュータの場合、<a href="http://support.dell.com">support.dell.com</a> を参照してください。</p>
画面にプレゼンテーションが表示されない。	ノートパソコンをお使いの場合は、   (Fn+F8) を押します。
画像が不安定、または、ちらつく。	OSD <b>表示</b> サブメニューでトラッキングを調整します (PC モードのみ)。
画像に縦線が入る。	OSD <b>表示</b> サブメニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。



問題 (続く)	解決方法 (続く)
画像の色が正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD 表示 タブで信号の種類を RGB に設定してください。</li> <li>• プレファレンスメニューの<b>その他</b>を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。</li> </ul>
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。</li> <li>2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (49.99 cm [0.5 m] ~ 330.10 cm [3.3 m])。</li> </ol>
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。画像がそれでも伸びる場合、OSD の<b>設定</b>メニューで縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する。	<p>OSD で <b>設定</b> を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする。	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 68 の「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>

問題 (続く)	解決方法 (続く)
ランプ ライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプ と Power LED がオレンジ色に点滅している場合はランプ ドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプ および温度 ライトがオレンジ色で点滅し、電源 ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。保護モードを消去するには、[ 電源 ] ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>
温度 ライトがオレンジ色で点灯	<p>プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</p>
温度 ライトがオレンジ色で点滅	<p>プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。電源 ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</p>
OSD が画面に表示されない。	<p>パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押しして OSD のロックを解除します。ページ 44 でメニューロックを確認します。</p>
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	<p>電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。</p>

# ガイド信号

プロジェクトス テータス	説明	コントロー ルボタン	インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オ レンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ
ウォームアップ モード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。 📌 <b>メモ</b> : OSD メニューにアクセスしていません。	青色	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ
省電力モード	省電力モードが有効です。2 時間以内に入力信号が検出されないと、プロジェクトは自動的にスタンバイモードになります。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ
省電力モード前の 冷却	プロジェクトは、省電力モードになる前に 60 秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ
プロジェクトが過 熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35 °C を超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバが 過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ
ファンが故障して います	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
ランプドライバが 故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オレンジ色 点滅
カラーホイールが 故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクトが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュール の接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色 点滅

## ランプの交換

**⚠ 警告:** この章で説明する交換処理の前に、ページ 7にある「安全上のご注意」をお読みください。

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。「**ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに近づいています。交換をお勧めします。**

[www.dell.com/lamps](http://www.dell.com/lamps)」というメッセージが画面に表示されたら、ランプを交換しましょう。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。詳しくは、「Dell™ へのお問い合わせ」ページ 75 をご覧ください。

**⚠ 警告:** オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

**⚠ 警告:** ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

**⚠ 警告:** 電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

**⚠ 警告:** ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは [www.dell.com/hg](http://www.dell.com/hg) をご覧ください。


- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。


**📌 メモ:** Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。



9 OSD ランプタブにあるランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします ( ページ 39 の [ ランプ ] メニューを参照してください )。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。

 **警告** : ランプの廃棄 ( 米国のみ )

 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、**WWW.DELL.COM/HG**、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト **WWW.EIAE.ORG** をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については **WWW.LAMPRECYCLE.ORG** をご覧ください。

## 仕様

ライトバルブ	0.65" WXGA S450 DMD, DarkChip3™
明るさ	2200 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2400:1 標準 (フルオン/フルオフ)
均質性	80% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1280 x 800 (WXGA)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ :F/2.8 焦点距離、f=7.2 mm 修正 投影比 = 0.521 ワイドおよび望遠
投影画面サイズ	44.6-294 インチ (対角線)
投影距離	1.64~10.83 ft (0.5 m~3.3 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ :NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, Kl, L) コンポーネントビデオ (VGA & HDMI 経由) 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 100-240 50-60 Hz、PFC 入力付き
消費電力	通常モード : 240W ± 10% @ 110Vac (ネットワークオン) 省電力モード : <19W (ネットワークオン、最低のファン速度) スタンバイモード : <1W (ネットワークオフおよび VGA_OUT オフ)
オーディオ	1 スピーカ x 8 ワット RMS

ノイズレベル	33 dB +/- 2 dB(A)
質量	6.7 lbs (3.04 kg)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	12 x 3.9 x 9.7 インチ (306 x 99 x 246.5 mm)



環境条件	<p>動作温度 :5°C - 35°C (41°F- 95°F)</p> <p>湿度 :80% 最大</p> <p>保管温度 :0°C - 60°C (32°F- 140°F)</p> <p>湿度 :90% 最大</p> <p>輸送温度 -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)</p> <p>湿度 :90% 最大</p>
I/O コネクタ	<p>電源 :1 つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット)</p> <p>VGA 入力 2 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A &amp; VGA-B (アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用)</p> <p>VGA 出力 :1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。</p> <p>S ビデオ入力 :1 つの標準 4 ピンミニ -DIN S ビデオコネクタ (Y/C 信号用)。</p> <p>コンポジットビデオ入力 :1 つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用)</p> <p>HDMI 入力 :1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。</p> <p>アナログオーディオ入力 :1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (青) &amp; 1 対の RCA コネクタ (赤/白)。</p> <p>可変オーディオ出力 :1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (緑)。</p>

USB ポート : リモートサポート用 USB スレーブ (ミニ USB) x 1。

RS232 ポート : 1 つのミニ -DIN 6 ピン (RS232 通信用)。

RJ45 ポート : 1 つの RJ45 コネクタ (ネットワークを経由したプロジェクタの用コントロール用)

マイク : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (ピンク)。

12V 出力

1 つの 12V DC / 200mA 最大。リレースループット (自動画面の駆動用)。

ランプ

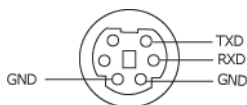
OSRAM 190 W ワットユーザ交換可能ランプ (最大 5000 時間)



**メモ :** プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突如の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。



## RS232 ピン割り当て



## RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート :	19200
データビット :	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクタへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例: 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト


最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください:  
[support.dell.com](http://support.dell.com)。

## 互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 x 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 x 900	84.842	80.430	157.000
1600 x 1200	60.000	75.000	162.000

# Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。

 **メモ:** インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 [support.dell.com](https://support.dell.com) をご覧ください。
- 2 ページの一番下にある **Choose A Country/Region (国 / 地域を選択する)** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **Contact Us (連絡する)** をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 Dell への連絡方法を選択します。

# 付録：用語集

**ANSI ルーメン** — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

**縦横比** — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

**明るさ** — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

**色温度** — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

**コンポーネントビデオ** — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミネンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

**コンポジットビデオ** — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

**圧縮解像度** — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

**コントラスト比** — 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 **フルオン/ オフ** — 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 **ANSI** — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

**dB**—デジベル—通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

**対角画面**—画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 ft 高さ、12 ft 幅の画面の対角線は 15 ft です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

**DHCP**—動的ホスト構成プロトコル—サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

**DLP**<sup>®</sup>—Digital Light Processing™ (デジタル光処理)—Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

**DMD**—Digital Micro-Mirror Device—各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

**DNS**—ドメイン名システム—ドメイン名を IP アドレスに翻訳するインターネットサービス。

**焦点距離**—レンズの表面からその焦点までの距離。

**周波数**—電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

**HDCP**—広帯域デジタルコンテンツ保護—DVI、HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ が開発した仕様です。

**HDMI**—High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース)—HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

**Hz (ヘルツ)**—周波数の単位。

**キーストーン補正**—プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

**最大距離**—プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

**最大画像サイズ**—暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

**最小距離**—プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

**NTSC**— National Television Standards Committee（全米テレビ放送規格委員会）。ビデオおよび放送用の北米規格、525ライン・30フレーム毎秒のビデオ形式。

**PAL**— Phase Alternating Line（走査線位相反転）。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625ライン・25フレーム毎秒のビデオ形式。

**画像の反転**— 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

**RGB**— Red, Green, Blue（赤、緑、青）— 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

**Sビデオ**— 4ピンの小型DINコネクタを使って、ルミナンス（明るさ、Y）とクロミナンス（色、C）と呼ばれる2本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。SビデオはY/Cとも呼ばれます。

**SECAM**— ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PALに大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

**SVGA**— Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ）— 800 x 600ピクセル。

**SXGA**— Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）— 1280 x 1024ピクセル。

**UXGA**— Ultra Extended Graphics Array（超拡張グラフィックスアレイ）— 1600 x 1200ピクセル。

**VGA**— Video Graphics Array—640 x 480ピクセルカウント。

**XGA**— Extended Video Graphics Array（拡張ビデオグラフィックスアレイ）— 1024 x 768ピクセル。

**WXGA**— Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）— 1280 x 800ピクセル。

**ズームレンズ**— 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

**ズームレンズ比**— レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1ズームレンズ比とは、ズームなしの10フィート画像が、フルズームでは14フィートになることを意味します。

# 索引

## Numerics

12V 出力 72

## D

Dell への

お問い合わせ 75

Dell へのお問い合わせ 66, 68

## お

オーディオ設定 44

オーディオ入力 44

オンスクリーンディスプレイ 32

その他 43

ピクチャ (PC モード) 34

ピクチャ (ビデオモード) 35

メインメニュー 32

ランプ 39

自動調整 34

設定 39

入力選択 33

表示 (PC モード) 36

表示 (ビデオモード) 38

## く

クイックシャットダウン 45

クローズドキャプション 48

## さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 75

## す

スクリーン 44

スクリーンキャプチャ 44

スピーカ 44

スクリーン設定 44

## せ

セキュリティ設定 45

## て

テストパターン 49

デルへのお問い合わせ 6

## と

トラブルシューティング 63

Dell へのお問い合わせ 63

## は

パスワード 46

## ふ

プロジェクトのズームとフォーカスの調整 22

    ズームタブ 22

    フォーカスリング 22

プロジェクトの接続

    12V DC プラグ 18

    HDMI ケーブル 16, 17, 19

    HDMI ケーブルでの接続 16

    RS232 ケーブル 12

    RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 12

    S ビデオケーブル 13

    S ビデオケーブルでの接続 13

    USB - USB ケーブル 10

    VGA - VGA ケーブル 10, 11

    VGA - YPbPr ケーブル 15

    コンピュータへ 10

    コンポーネントケーブルでの接続 15

    コンポジットケーブルでの接続 14

    コンポジットビデオケーブル 14

    自動スクリーン 18

    電源コード 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19

プロジェクトの電源を入れる / 切る

    プロジェクトの電源を切る 20

    プロジェクトの電源を入れる 20

## ほ

ボリューム 44

## め

メニュータイムアウト 43

メニューの透明度 43

メニュー位置 43

メニュー設定 43

## ら

ランプの交換 68

## り

リセット 44

リモコン 27

    IR レシーバ 26

仕様

    I/O コネクタ 71

    RS232 プロトコル 73

    オーディオ 70

    カラーホイール速度 70

    コントラスト比 70

    ノイズレベル 71

    ビデオ互換性 70

    ライトバルブ 70

    ランプ 72

    画素数 70

    環境条件 71

    均質性 70

    質量 71

    消費電力 70



- 寸法 71
- 電力供給 70
- 投影レンズ 70
- 投影画面サイズ 70
- 投影距離 70
- 表示可能な色 70
- 明るさ 70
- 消音 44
- 省電力 45
- 接続ポート
  - +12V DC アウトコネクタ 9
  - HDMI コネクタ 9
  - RJ45 コネクタ 9
  - RS232 コネクタ 9
  - S ビデオコネクタ 9
  - VGA-A 出力 (モニターループスルー) 9
  - VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 9
  - VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 9
  - オーディオ -A 入力コネクタ 9
  - オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ 9
  - オーディオ -B 左チャンネル入力コネクタ 9
  - オーディオ出力コネクタ 9
  - コンポジットビデオコネクタ 9
  - セキュリティケーブルスロット 9
  - セキュリティバー 9
  - マイクコネクタ 9
  - ミニ USB リモートコネクタ 9
  - 電源コードコネクタ 9
- 電話番号 75
- 投影画像の調整 21
  - プロジェクタの高さ調整 21
  - 傾斜調整ホイール 21
  - 前面傾斜調整ホイール 21
- 本体 7
  - IR レシーバ 7
  - コントロールパネル 7
  - フォーカスタブ 7
  - レンズ 7